

# 匠

ダメージゼロの完ぺきな修理をめざす職人の作った空間

# —たくみ—のいる場所

**腕におごらず日々の研究に余念がない  
温故知新を地で行く若手の修理士**

この工房の主は、「いいかげんな修理でダメージを負う腕時計がなんと多いことか」と嘆く。修理のクオリティにこだわる若き職人は、いつでも研究の歩を止めようとはしない。そして工房に揃う、およそ考えつく限りの設備や工具もまた、職人の目指すステージがとても高いことを物語る。



友輝  
大友茂弘 さん

## SHOP INFO

時計修理工房(有)友輝

〒113-0034  
東京都文京区湯島3丁目  
※来店の際は事前に連絡をお願いします  
TEL: 03-3835-7390 (要事前予約)  
<http://www.yuuki-tokei.com>  
営業時間/11:00~19:00  
定休日/土曜日、日曜日、祝日  
オーバーホール料金例/  
ロレックス (3針): 2万6250円~  
オメガ (手巻スピードマスター): 3万6750円~  
ロレックス (GMTマスター): 2万8350円~  
ロレックス (コスモグラフデイトナ): 4万7250円~



湿気や水没でケース内に水分が浸入すると、時計の内部でジワジワとサビが進行する。「特に水没してしまった時計は、できるだけ早く時計修理工店で点検してほしい」と大友さんは話す。写真左がサビついて止まってしまったムーブメント。右は大友さんが復旧させた後の写真

写真提供: 時計修理工房 友輝

標榜科目はロレックスとオメガ  
東京・御徒町に名匠あり

時計修理工房「友輝」の大友茂弘さんは、同社のある東京・御徒町界隈を「腕時計業界の大きな部品倉庫のようですね」と笑う。日本における腕時計の聖地といえは諏訪だという人も少なくないが、時計の修理部品や修理用品を手に入れるのならば、確かに御徒町ほど便利な街はない。だから2009年に大友さんが独立を決めたとき、迷わずこの街を選んだ。

「内装や応接セットにお金をかけるくらいなら、部品や修理用の装置、工具に注ぎこみたい性格なんです」

室内に案内しながら大友さんははにかんでいるが明るく、クリーンな友輝の空間は時計修理の場として優れているとひと目でわかる。室内は大友さんが動きやすいように修理機、時計旋盤、超音波洗浄機、防水試験器などがレイアウトしてある。ちなみにケースの研磨の際に使うグラインダーは、メインの修理部屋とはドアできちんと仕切られている。

「時計修理は職人それぞれに癖があります。修行したり、教えてもらった環境の違いで、いろいろな方法も存在します。でもユーザーは修理店の腕を信じてオーバーホールや修理を依頼するのですから、仕事の質は高くなければならないと思います」

ところが実際には、仕事の質にも差は出るという。

「あなたの時計壊されていませんか？」そんな意味深な言葉からはじまる友輝のホームページは、職人の雑な仕事や未熟な技術で、メンテナンスしたつもりが、かえってダメージを受けている腕時計が実に多いことへの警鐘だ。「きちんと面倒をみてあげれば、機械式時計は一生の相棒になってくれます



01



02



03



04



05



06



07



08



09



写真提供：時計修理工房 友輝

修理をする人の不注意や不認識、経験不足から時計にダメージを与えてしまった例。右はサイズが適切ではないドライバーで無理にネジをしめたことで、ネジが傷んでしまったらしい。左はベゼルを強引にこじって外したことからインナーベゼルが歪んでしまったらしい。大友さんのところに持ちこまれて初めての修理者の乱暴な仕事ぶりが発覚した



10

- 01 大友さんは時計を診るときに光学顕微鏡を使う。「キズ見ルーペよりも大きな倍率で時計内部を見られますから」というのが顕微鏡を重用する理由だ
- 02 ブラシ、ニッパー、ドライバーなどの卓上で使う工具にもこだわりがある。使い心地、手なじみの良いものだけが机の上に置かれている
- 03 「ステンレスのピンセットは腰が強すぎて……」と大友さんは鉄製のピンセットを好んでいる。先端は用途に合わせて、市販のまま(右)だったり、中細(中)、極細(左)などに加工する
- 04 高価な機械だが、時計修理の効率化には欠かせない超音波洗浄機
- 05 手前がクォーツ用の歩度測定機。その向こうは機械式時計の歩度を検査する機械で、いちばん奥にあるのは防水試験器
- 06 ラックの上にあるのも防水試験のための計測器。防水性能の高い腕時計には、こちらの機械を使うことが多い
- 07 友輝では時計旋盤を完備していて、パーツの加工やワンオフもできる。しかも時計旋盤専用の光学顕微鏡を備えている
- 08 タガネの棒も300種以上用意している。これも「より精度の高い作業をするため」だと大友さんは話す
- 09 ロレックスとオメガのパーツに関しては、膨大なストックを誇る。
- 10 細心の注意と最新の知識で時計修理を進めていくのが大友流。修理技術の研鑽はもちろん、より精度の高い修理技術の研究も大友さんの日々のテーマだ

時計修理工房、友輝ではロレックスとオメガについては修理や分解掃除を請け負うが、そのほかのブランドに関

定だ。  
大友さんは39歳になった。この業界ではまだ若手といわれる年齢だ。が、研究熱心なことは、友輝のブログを読めば一目瞭然。信頼できる職人かそうではないかは、ブログを見てもえれば、すぐにわかってもらえるだろう。しかも「料金が安いわけではない」と大友さん自身は言うが、オーバーホールの料金から判断する限り、メーカーの基準に比べてずいぶんひかえめな設定だ。

「質の高い修理や分解掃除には、それなりの設備も必要です。もちろん職人の資質は絶対条件です。それから向上心、研究心も大切ですね。若いから未熟で、ベテランだから熟練しているということでもない」と私は思います」  
大友さんは39歳になった。この業界ではまだ若手といわれる年齢だ。が、研究熱心なことは、友輝のブログを読めば一目瞭然。信頼できる職人かそうではないかは、ブログを見てもえれば、すぐにわかってもらえるだろう。しかも「料金が安いわけではない」と大友さん自身は言うが、オーバーホールの料金から判断する限り、メーカーの基準に比べてずいぶんひかえめな設定だ。

「それは公式には受け付けていない。世話させてもらった本数が圧倒的に多いからです。充分な知識も経験もあり、部品もロレックスとオメガに限定することで、しっかりとストックができています。つまり環境が整っているということですね」

オリジナルを大切にすることも大友さんのこだわりで、文字盤や風防の交換などにも慎重だ。古い年式のモデルの場合、劣化したりはがれてしまったりした夜光塗料の色合わせでも、絶妙な調合をする。  
ただし大友さんの時計修理に対する真摯な態度を知ると、「この人になら任せられる」と、すっかりファンになってしまふユーザーも少なくない。該当しないブランドの腕時計のオーバーホールや修理を、無理を承知で依頼してくるケースもある。

「そういうときにお断りすることも大切だと思っています。ほかのブランドに関して私よりもずっと得意な工房はきっとありますから」  
誤解を怖れずに書くなら、この融通のきかなさ具合が時計修理工房、友輝と大友さんの魅力だと言えるだろう。しかも「それでもかまわない」と、ロレックスやオメガではない腕時計を大友さんにメンテナンス依頼する客もいるという。友輝として独立する前は、もちろんさまざまな腕時計を担当した経験がある大友さんは、そういう「ぜひと」という場合だけは、非公式に依頼を受けるようにしているが、それは「よそで痛めつけられたり、その腕時計が充分なメンテナンスを受けずに眠らせてしまわないためです」と笑った。

あくまでもロレックスとオメガが専門の時計修理工房、友輝。しかし社長の友輝さんは、腕時計を愛するすべてのユーザーの味方だと思ふ。

「傷めつけられて再修理なんてことになったら、ユーザーは腕時計に興味を失ってしまうかもしれません。それはとても不幸なことですね。そういうユーザーをひとりでも減らしたいということが、ボクの願いですね」

「傷めつけられて再修理なんてことになったら、ユーザーは腕時計に興味を失ってしまうかもしれません。それはとても不幸なことですね。そういうユーザーをひとりでも減らしたいということが、ボクの願いですね」